

# 吉部校区ウォーキングマップ

## 古き良き街並みを訪ねて



山間部に集落が散在する吉部地区。その中心となる吉部市は、船木街道に沿って発達した宿場町で、今もその面影は至る所に残っています。郷愁をそそる街並みを歩いてみませんか。



宇部市健康づくりキャラクター

1 吉部ふれあいセンター	→ 0.1km →	2 船木鉄道跡	→ 0.2km →	3 吉部八幡宮	→ 0.1km →
4 神宮寺・宝篋印塔	→ 0.1km →	5 楡立森古墳	→ 0.1km →	6 吉部街なみ	→ 0.6km →
7 夫婦岩	→ 1.2km →	8 妙典供養碑	→ 2.0km →	9 吉部の大岩郷	→ 2.2km →
10 吉部ふれあいセンター					

足をのぼして ⑩～⑬荒滝方面 5.0km 登山・片道で40分 ⑭今小野十一面観音 5.3km

**1 吉部ふれあいセンター**  
ここにパーキング

吉部地区の行政、文化の中心施設として活用され、平成10年に新築。吉部地区の散策はここから始めよう。

**2 船木鉄道跡**  
大正15年に宇部、船木から吉部まで開通。昭和19年までの20年間地域の経済、文化、産業の発展に大きな役割を果たした。

**3 吉部八幡宮**  
別名、寺尾八幡宮といひ、弘長元年(1266)の創建。毎年11月に行われる「芋煮の神事」は、創建当時の事情を物語る民俗資料として有名である。

**4 神宮寺・宝篋印塔**  
吉部八幡宮に隣接する神宮寺。その境内にはクスノキ古樹のほか、県内唯一の近世期建立の宝篋印塔(供養塔)がある。

**5 楡立森古墳**  
明治初期まで吉部八幡宮の大祭には大提灯が灯されていたといわれ、楡持ちの籠園番人が立ったと伝えられる。楡ヶ森、あるいは一ノ森とも呼ばれる。また、周辺には下市遺跡や上原田遺跡なども発掘された。

**6 吉部市地区街なみ**  
明治以後、昭和にかけて資材の集積地区として賑わってきた吉部市。田園的環境を残せるよう街なみ整備事業により整備された。

**7 夫婦岩**  
厚東川の岸近く、二つの大岩が寄り添う。雨の夜には、終日終夜の夜(父恋し、母恋し、故郷恋し、萬恋し)と生まれ故郷を慕って泣くと言ひ伝えられている。

**8 妙典供養碑**  
鎌倉期から江戸期にかけて盛んに造られた板碑で、石造平塔型ではめずらしい。「常言教日 為妙典万部供養」と刻銘されている。

**9 吉部の大岩郷**  
無数の巨岩が3ヘクタールにわたって広大な河川のように重なり流れた様相をみせる。地学的・植物学的見地から国の天然記念物に指定された。



ちょっと足をのぼして 今小野

**14 今小野の十一面観音**  
今小野地区は内藤氏ゆかりの史跡が多く残る集落で、ここにある藤原様式的美麗な木造十一面観音菩薩像は南北朝時代の作とされ、県指定文化財である。

ちょっと足をのぼして 荒滝山方面

**12 荒滝の耳観音**  
荒滝山のみもとにある観音様で、昔から穴の開いた石を奉納し、折願すといわれ、今も信仰する人が多い。

**10 山城とりで跡**  
四季の景観に優れた風光明媚な山、荒滝山。大内氏の長門守護代を努めた内藤隆春の出城跡で、人工の形跡が少ない戦国時代の山城。

**11 荒滝山山頂**  
宇部市最高峰の標高459m。山頂に江戸時代に造られたのろし場の跡や明治天皇陶像が建立されている。南は瀬戸内海、北は秋吉台を望める。